



✓ Third party verified

Environmental Product Declaration

Confromance with

ISO14025

ISO14040

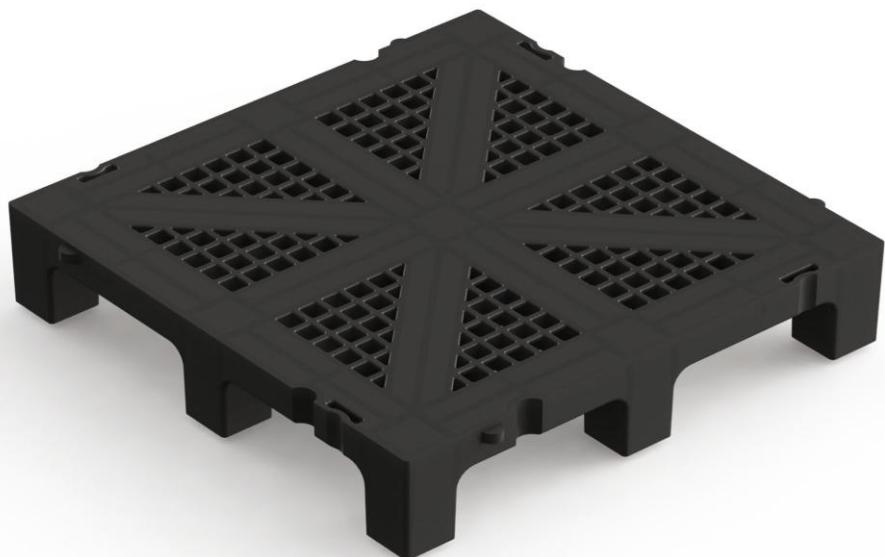
ISO14044



アイリスオーヤマ株式会社

IRIS OHYAMA Inc.

OAフロア RPP SFP-3RP Raised Floor RPP SFP-3RP



登録番号

SuMPO-EPD-2512-53-1

検証合格日

2025/12/18

公開日

2026/1/6

検証有効期間

2030/12/17

EPDタイプ

単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

● 基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	二重床
PCR登録番号	PA-242159-AG-07
PCR認定日	2023年5月10日
レビューパネル委員長（所属）	山岸 健（一般社団法人サステナブル経営推進機構）
PCR有効期限	2028年5月9日
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証			
	<input type="checkbox"/> 内部		<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証	<input type="checkbox"/> による第三者検証
検証実施者（所属）	小関康雄（小関環境事務所）			

> 準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

● EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	アイリスオーヤマ株式会社 BtoB事業グループ 建装事業部
住所	東京都大田区南蒲田2丁目16-1 テクノポートカマタセンタービル4F
問い合わせ先	022-253-7095
LCA算定実施者（所属）	仲村元樹（株式会社ゼロック）
事業者概要	売上高：（グループ）7,760億円 （単体）2,315億円（2024年12月期） 本社所在地：〒980-8510 宮城県仙台市青葉区五橋2-12-1 生活用品の企画・製造・販売を主業務とし、法人向けLED照明や業務用家具、家電、ペット用品、園芸用品など幅広く展開。国内外に生産・物流ネットワークを持ち、埼玉、大連（中国）などに複数の製造拠点を有する。

●製品情報

製品名称	OAフロア RPP SFP-3RP			
製品の型式	SFP-3RP			
製品仕様	製品機能	床下の空間確保、配線の露出防止、電源・通信・LAN配線など収納機能の提供。		
	製品質量	8.0kg/m ²	換算係数	-
	製品の用途	オフィスなどの一般事務所において、床仕上げを支持しつつ、配線等を床下空間に収納するための二重床として使用。		
	技術性能	フリーアクセスフロア工業会「フリーアクセスフロアの性能評価2022.03」に規定される耐荷重性(3000N)、耐衝撃性等を備える		
耐用年数	年数	50年		
	使用条件	商品カタログに準ずる		
	年数を設定した根拠	鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数と同等とし、耐久年数や保証期間を指すものではない。出典：国税庁，“主な減価償却資産の耐用年数表”<2022年>		
製造サイト（製造拠点）	埼玉工場			
製品概要	パネル種類・品番：SFP-3RP 製品寸法：250mm×250mm×50mm 耐荷重：3000N(300kgf) 変形量5mm 以下			
	製品ウェブサイト https://www.irisohyama.co.jp/b2b/kensou/products/oa-floor/rpp/			

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
リサイクルPP	100.0%	8.00 kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

● LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 単一製品	<input type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト		<input type="checkbox"/> 複数サイト
	開示方法	<input checked="" type="checkbox"/> 特定値	<input type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値
地理的範囲		グローバル		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		-		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		-		
複数製品EPDの説明		-		

> LCA関連情報

宣言単位	1m2	
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	8.0kg/m2	
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	-	
システム境界	<input type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options
LCAソフトウェア	MiLCA for EPD Ver3.2.0.0	
LCIデータベース	IDEAv3.1	
特性化モデル	気候変動：IPCC第6次評価報告書(IPCC,2021年)、他の影響領域：LIME2	
その他のバックグラウンドデータ	-	
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。	
一次データ収集拠点	埼玉工場	
一次データ収集期間	2024年1月～2024年12月の1年間のデータ	
生物由来炭素の取り扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input type="checkbox"/> -1/+1アプローチ
電力契約に関する情報	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス
	種類	-
	購入日	-
	発行元	-

> 算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外 D 潜在的な負荷と便益
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	
原 料 の 調 達	工 場 へ の 輸 送	製 造	現 場 へ の 輸 送	施 工	使 用	維 持 保 全	修 繕	更 新	改 修	エ ネ ル ギ ー 消 費	水 使 用	解 体 ・ 撤 去	廢 棄 物 の 輸 送	中 間 処 理	廢 棄 物 の 処 理	
<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

■ : 算定対象 - : 算定対象外

>アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。当該製品の製造工場では、当該製品以外の製品も製造しており、プロセスの細分化によるアロケーション回避が困難であるため、当該製品及び共製品の生産質量による物質量アロケーションを実施した。

>カットオフ

PCRのカットオフ基準に基づき、支持脚・包装資材をカットオフ対象とした。

>システム境界

PCRに基づき対象のライフサイクル段階は、【A1】原材料の調達に係るプロセス、【A2】原材料の工場までの輸送に係るプロセス、【A3】製品の製造に係るプロセス、【A4】施工現場への輸送とした。

時間的システム境界は100年である。

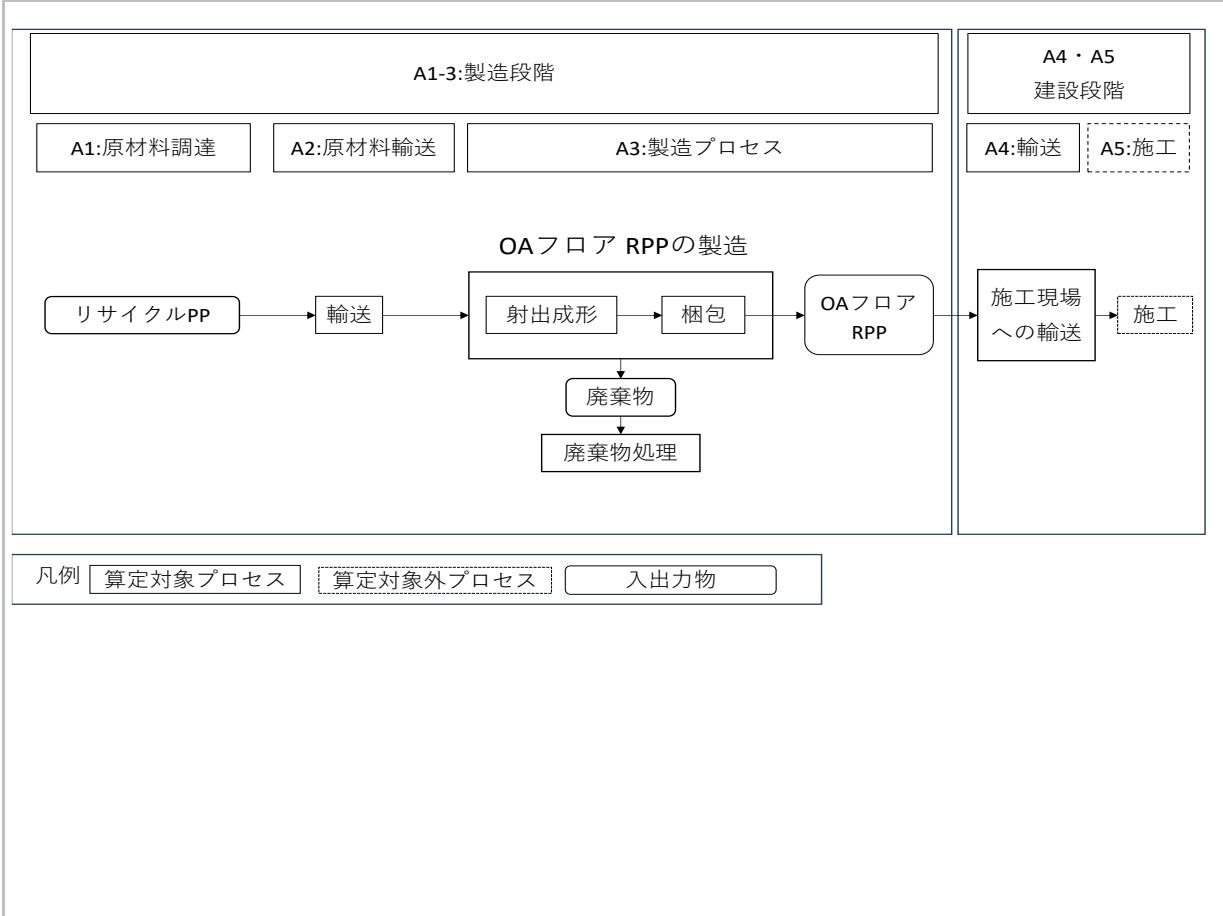
>シナリオ

モジュール	説明
A2,A3,A4	原材料調達、廃棄物輸送、生産サイト間の輸送距離、輸送手段および積載率について、一次データが得られないプロセスについては、PCRのシナリオを適用した。

>電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2018年における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

>ライフサイクルフロー図



●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造	【A4】施工現場への輸送	D 境界外
気候変動	kg-CO ₂ eq	2.91E+00	6.49E-01	3.76E+00	6.48E-01	-
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	6.70E-07	8.72E-12	9.06E-07	8.69E-12	-
酸性化	kg-SO ₂ eq	2.72E-03	2.15E-03	3.70E-03	2.14E-03	-
都市域大気汚染	kg-SO ₂ eq	2.08E-03	8.06E-04	2.82E-03	8.04E-04	-
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	5.34E-05	4.58E-06	7.28E-05	4.57E-06	-
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	6.49E-05	3.23E-06	2.07E-04	3.22E-06	-
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	8.24E-06	2.10E-06	1.36E-05	2.09E-06	-
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	5.40E-03	1.03E-07	9.05E-03	1.03E-07	-
陸生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	1.31E-01	1.71E-06	1.90E-01	1.70E-06	-
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	7.27E-07	6.68E-12	5.34E-07	6.66E-12	-
土地利用(維持)	m ² /年	2.22E-02	5.45E-02	2.09E-02	5.43E-02	-
土地利用(改変)	m ² /年	5.48E-04	1.09E-03	5.59E-04	1.09E-03	-
資源消費	kg-Sbeq	1.88E-05	2.70E-06	2.88E-05	2.70E-06	-

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造	【A4】施工現場への輸送	D 境界外
非再生可能資源	kg	3.69E-02	6.52E-07	5.75E-02	6.50E-07	-
非再生可能エネルギー	kg	1.04E+00	1.98E-01	1.41E+00	1.98E-01	-
非再生可能エネルギー	MJ	4.29E+01	8.89E+00	5.81E+01	8.86E+00	-
再生可能資源	kg	2.98E-03	1.66E-07	1.38E-02	1.65E-07	-
再生可能エネルギー	MJ	1.77E+01	2.26E-04	2.37E+01	2.25E-04	-
淡水の消費	m ³	1.44E-03	1.33E-05	8.47E-04	1.32E-05	-
排出, CO ₂ (化石資源由来), 大気, 不特定	kg	2.66E+00	6.22E-01	3.62E+00	6.20E-01	-
資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	6.59E-02	1.95E-01	9.76E-02	1.94E-01	-
排出, 挥発性有機化合物, 大気, 不特定	kg	2.38E-10	5.10E-15	5.22E-09	5.09E-15	-

> 廃棄物関連情報

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造	【A4】施工現場への輸送	D 境界外
有害廃棄物	kg	0.00.E+00	0.00.E+00	0.00.E+00	0.00.E+00	-
無害廃棄物	kg	7.55E-01	5.64E-09	7.19E-03	5.63E-09	-
一般廃棄物 埋立物	kg	1.34E-13	9.10E-18	7.86E-13	9.07E-18	-
産業廃棄物 埋立物	kg	7.55E-01	5.64E-09	7.19E-03	5.63E-09	-

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

> 出力フローに関する環境情報

SuM		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造	【A4】施工現場への輸送	D 境界外
再利用可能な部品	kg	-	-	-	-	-
リサイクル用材料	kg	-	-	-	-	-
エネルギー回収用材料	kg	-	-	-	-	-
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率 $\geq 60\%$)	MJ	-	-	-	-	-
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効率 $< 60\%$)	kg	-	-	-	-	-
回収エネルギー	MJ	-	-	-	-	-
廃棄物の埋立 (廃棄物の埋立により 発生する埋立ガスからの エネルギー回収)	kg	-	-	-	-	-
回収エネルギー	MJ	-	-	-	-	-

> LCA算定結果に関する説明

-

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

-

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
-	-	-
-	-	-
-	-	-

建材および建設製品からの危険物質の放出

-

●用語の定義**●参考文献**

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products